

第2章 相生市の現状

2-1 位置

本市は兵庫県の南西部に位置しており、姫路市へは東へ21km、神戸市へは76kmの距離にあります。

東はたつの市、西は赤穂市、北は播磨科学公園都市に隣接しており、気候は比較的温暖な瀬戸内海式気候に属しています。

市域は東西7.98km、南北19.56km、総面積は90.40k㎡となっており、海と山の双方を有する自然環境に恵まれた地域です。

【位置と概要（相生市）】

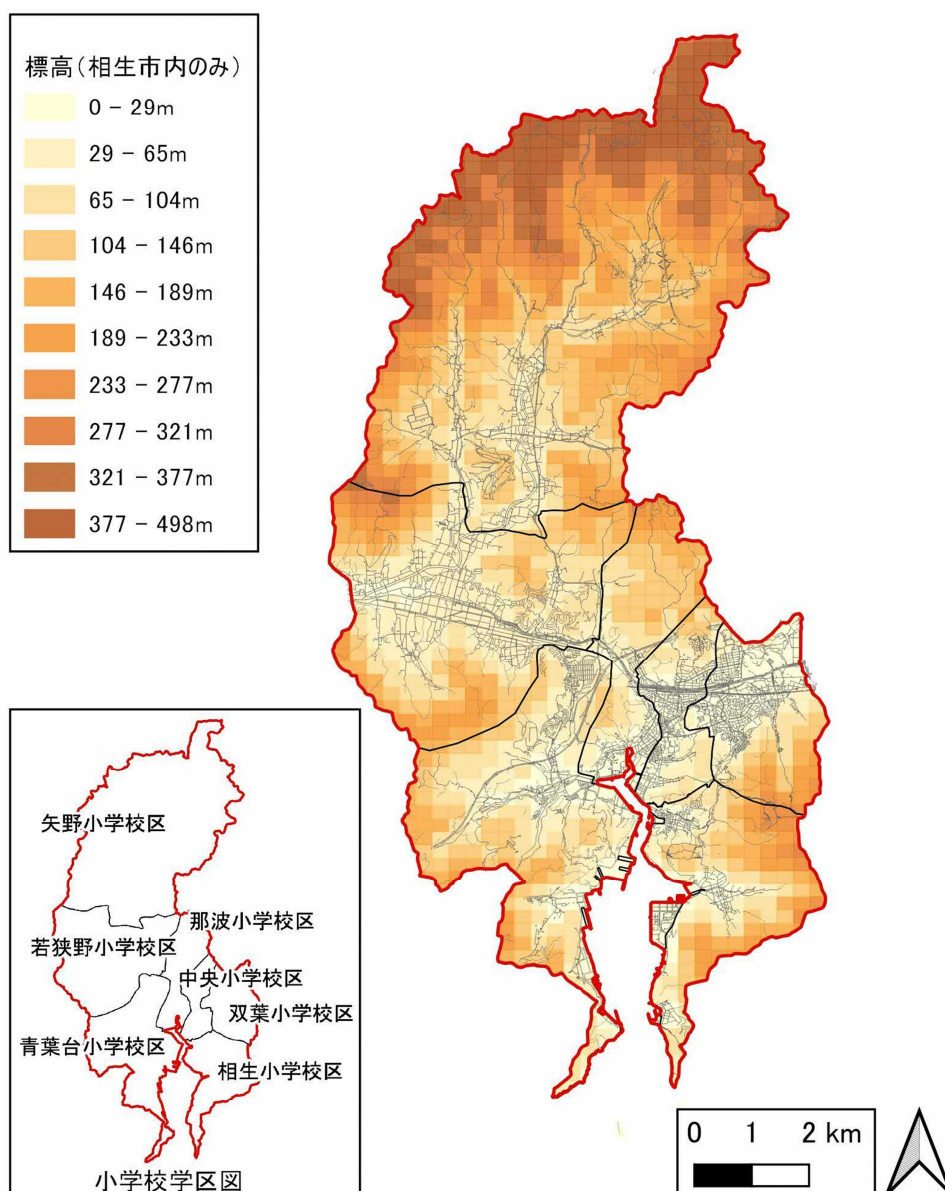


2-2 地勢

本市の最高所は、市域の北部に位置する三濃山の標高 508.6m で、相生湾に面する南部にかけて標高が低くなる地勢となっています。

ただし、南部の青葉台小学校区や相生小学校区にも周辺部よりも標高が高い丘陵地が見られます。

【地勢図（相生市）】



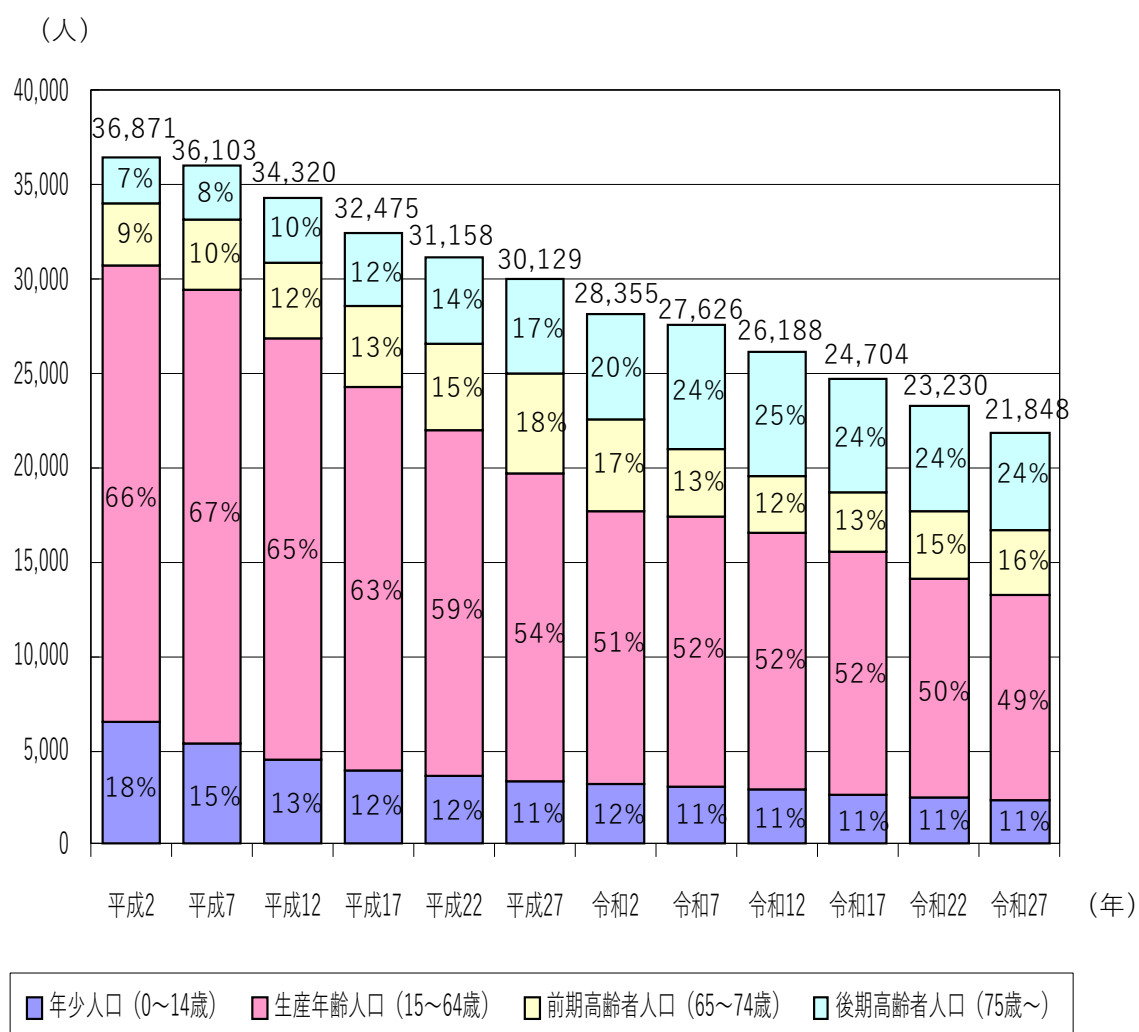
出典：国土交通省「国土数値情報ダウンロードサービス」を基に作成
標高の表示方法については、50mメッシュごとの平均の標高

2-3 人口

本市の人口は令和 2 年の国勢調査結果によると、28,355 人となっており、令和 27 年には、約 22,000 人にまで減少すると推計されています。

65 歳以上の高齢者人口は、平成 7 年に年少人口の割合を上回って以降、年々増加をしており、平成 7 年に 18%であった高齢化率は令和 27 年には 40%と倍以上になると推計されています。

【年齢階層別人口の推移（相生市）】



出典：令和 2 年以前までは国勢調査結果

令和 7 年以降は日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）の推計値を参照

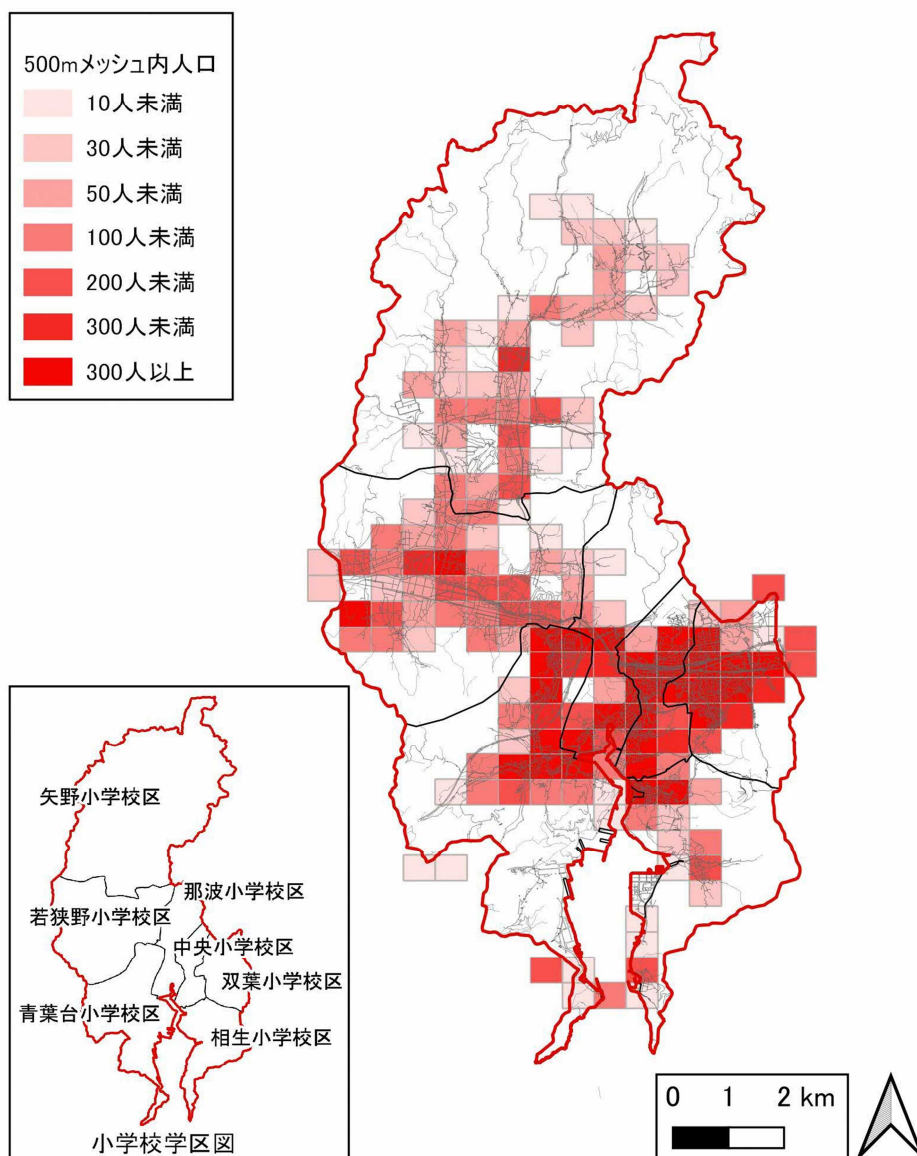
本市の可住地面積※¹は22.32k m²で、総面積の約25%となっています。

人口分布の状況としては、双葉、中央、青葉台、那波の各小学校区に人口が集中しており、300人以上（メッシュあたり※²）の居住地が多く見られます。一方で、市の北部では100人未満（メッシュあたり）の地域が多く点在しています。

※1 可住地面積は、総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて総務省統計局が算出した面積。出典は、兵庫県市区町別主要統計指標（令和4年版）

※2 メッシュは、1辺が約500m

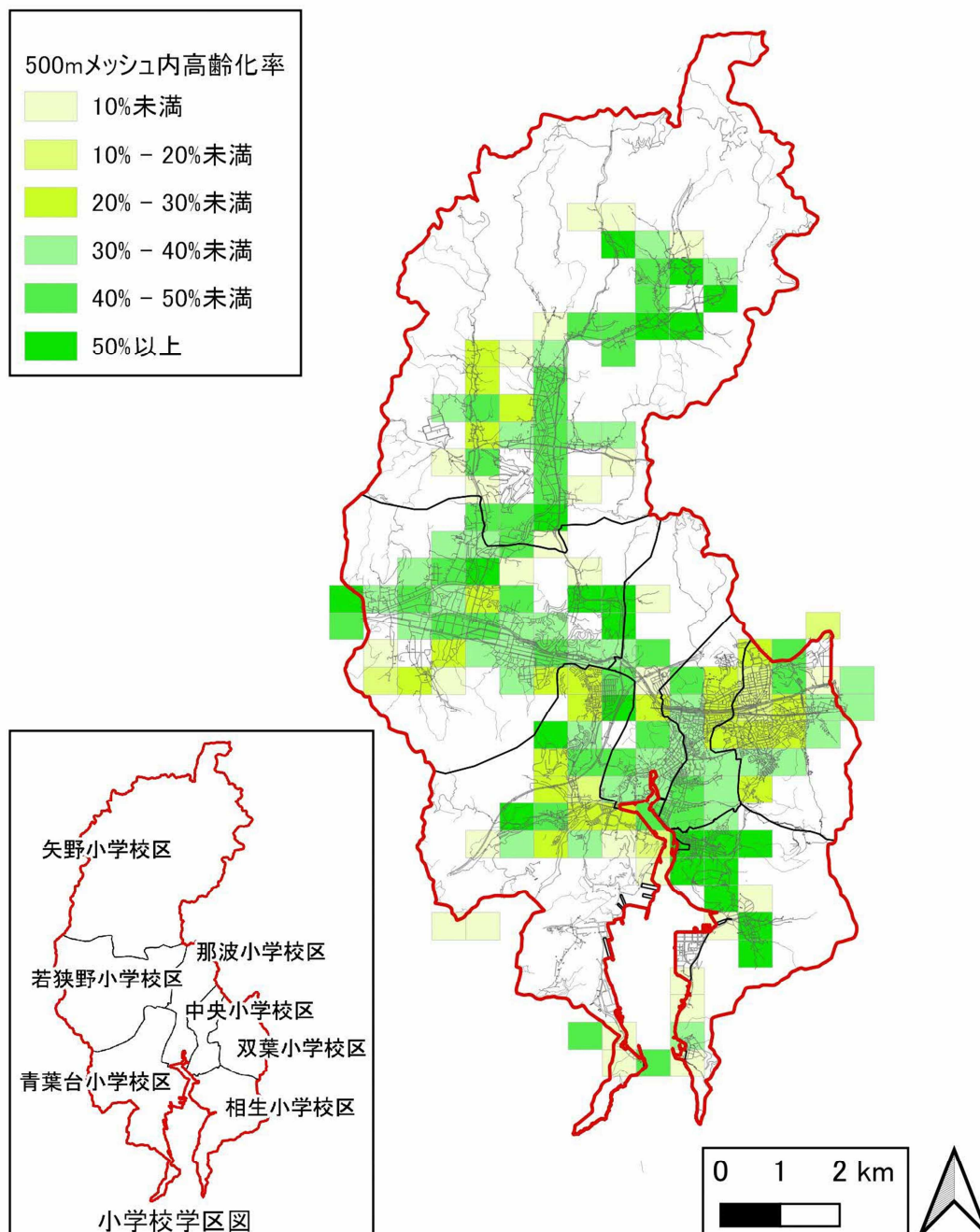
【地域別人口】



出典：国勢調査地域メッシュ統計（平成27年）

高齢化率が30%以上となる地域が市域全体に存在しており、高齢化率が50%以上の地域も郊外部を中心に点在していますが、JR 相生駅周辺の高齢化率は他の地域と比べて比較的低くなっています。

【地域別高齢化率】

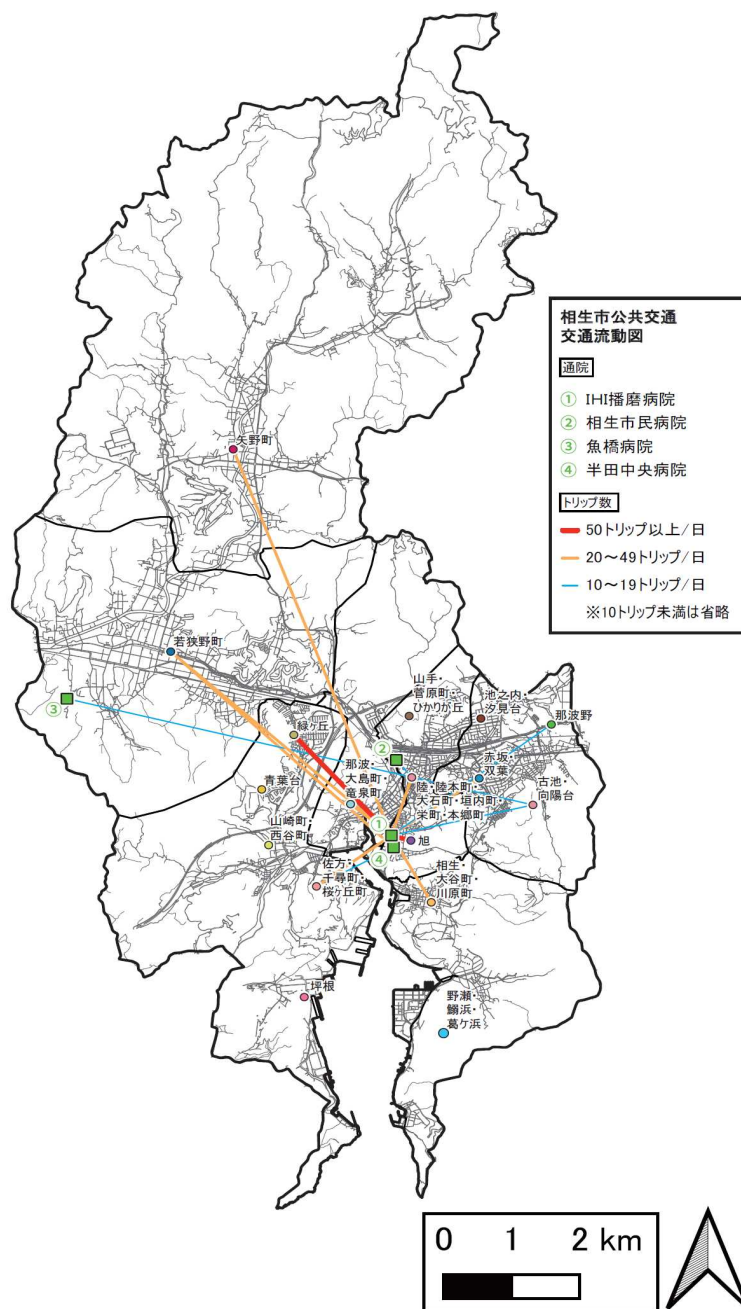


出典：国勢調査地域メッシュ統計（平成27年）

2-4 交通流動

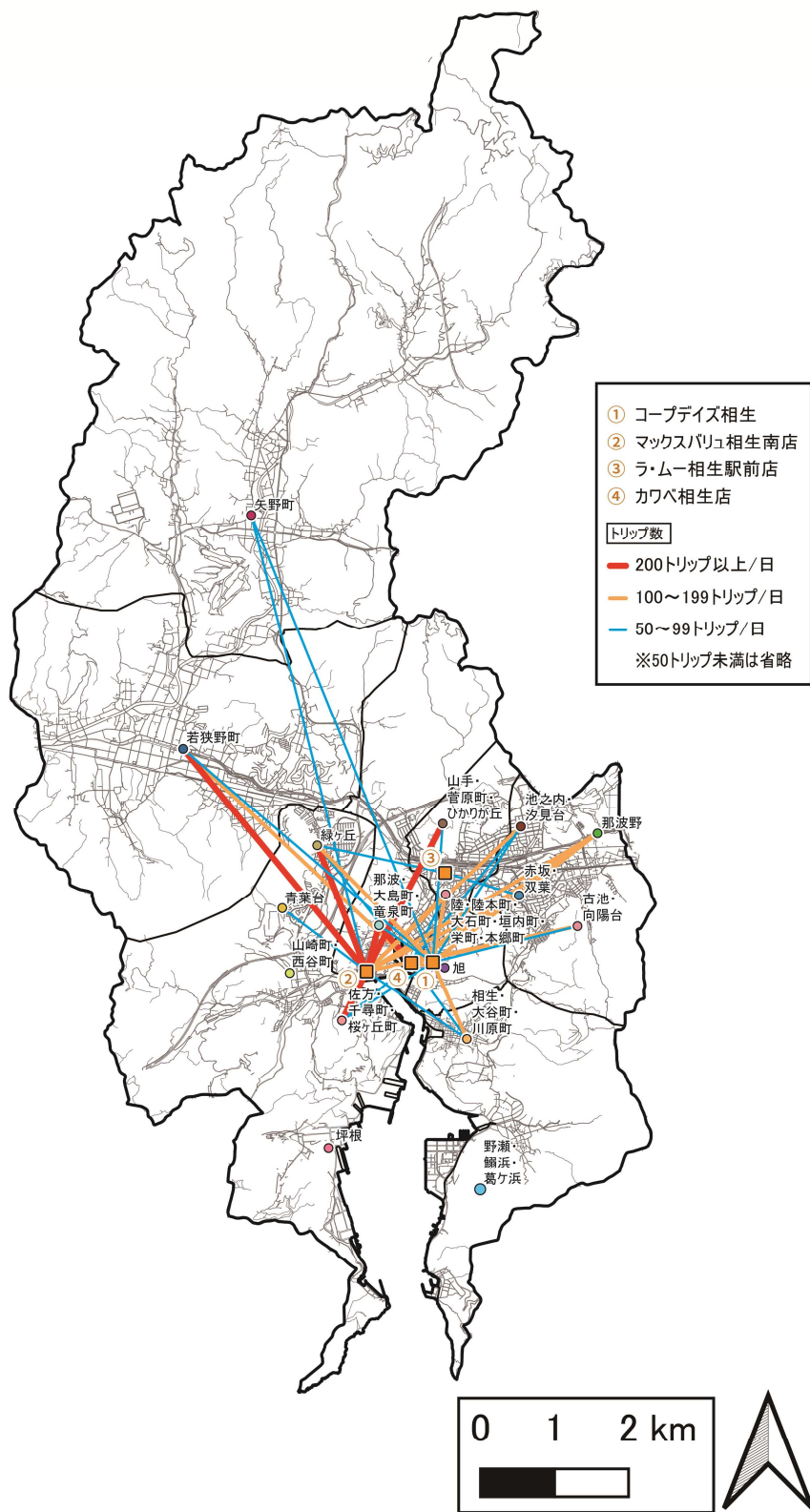
本市の交通流動は、通院や買い物に関しては市内の施設への移動が多い反面、通勤・通学に関しては通院や買い物と比較して姫路市やたつの市などへの移動が多く見受けられます。

【交通流動図（医療施設）】



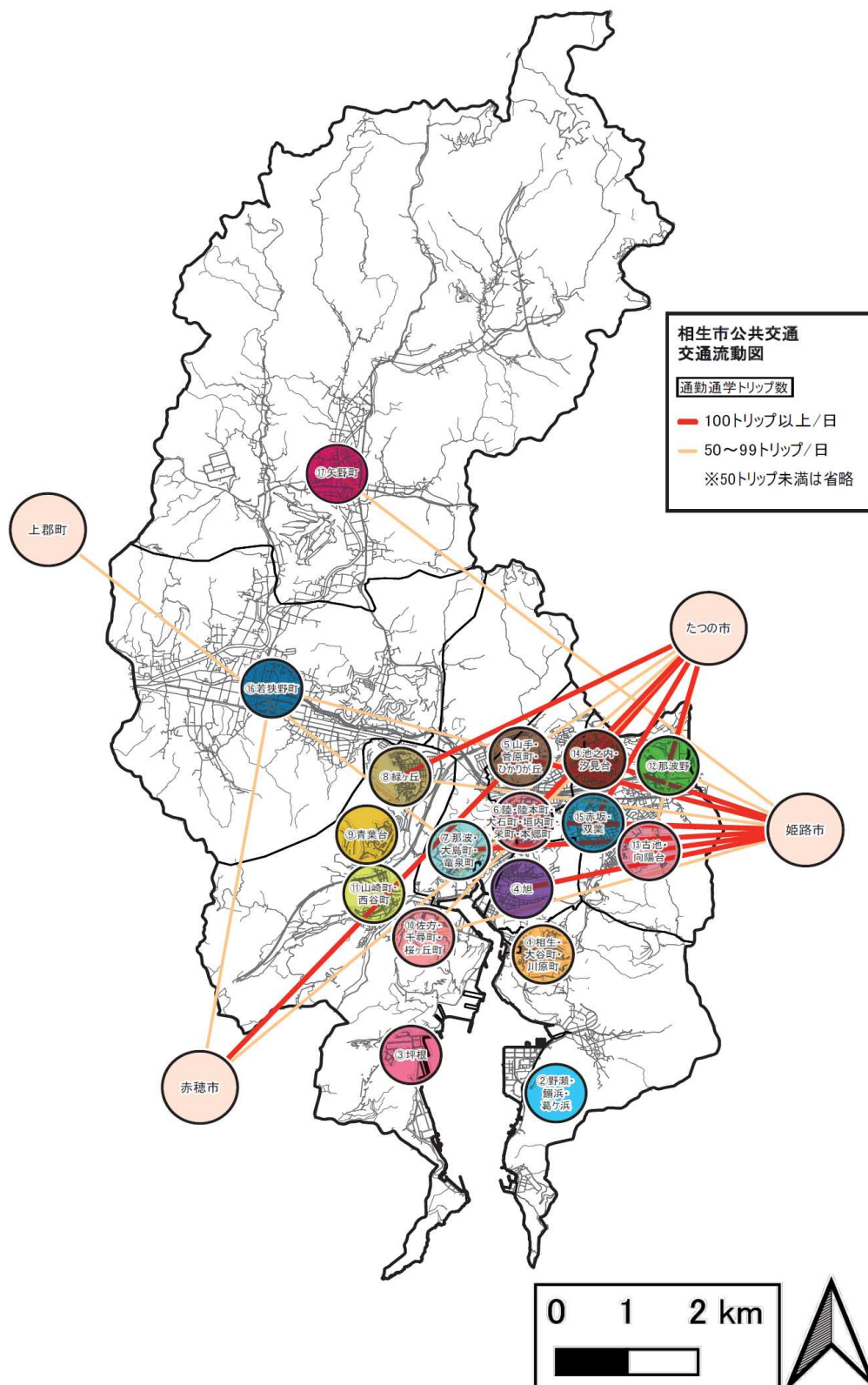
出典：市民アンケート調査（令和４年）に基づく推計

【交通流動図（商業施設）】



出典：市民アンケート調査（令和４年）に基づく推計

【交通流動図（通勤・通学）】

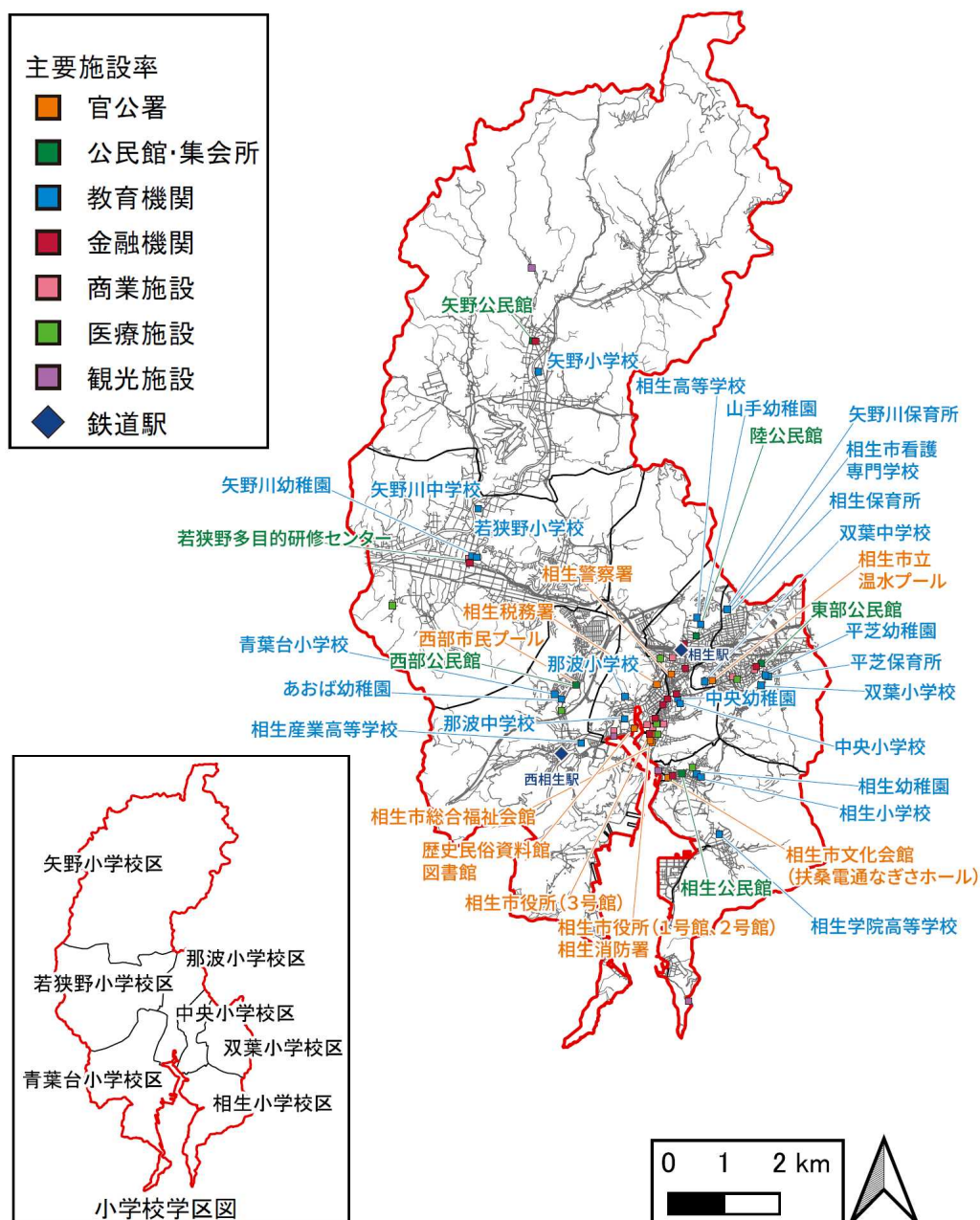


出典：市民アンケート調査（令和４年）に基づく推計

2-5 主要施設の立地状況

本市の主要施設は、相生駅から相生市役所までの県道 64 号線近傍に官公署、金融機関、商業施設、医療施設などが多く存在しています。一方で、相生市北部の矢野地区、若狭野地区では、教育機関、公民館・集会所は点在していますが、主要機関の数は少なくなっています。

【主要施設分布図（相生市内）】



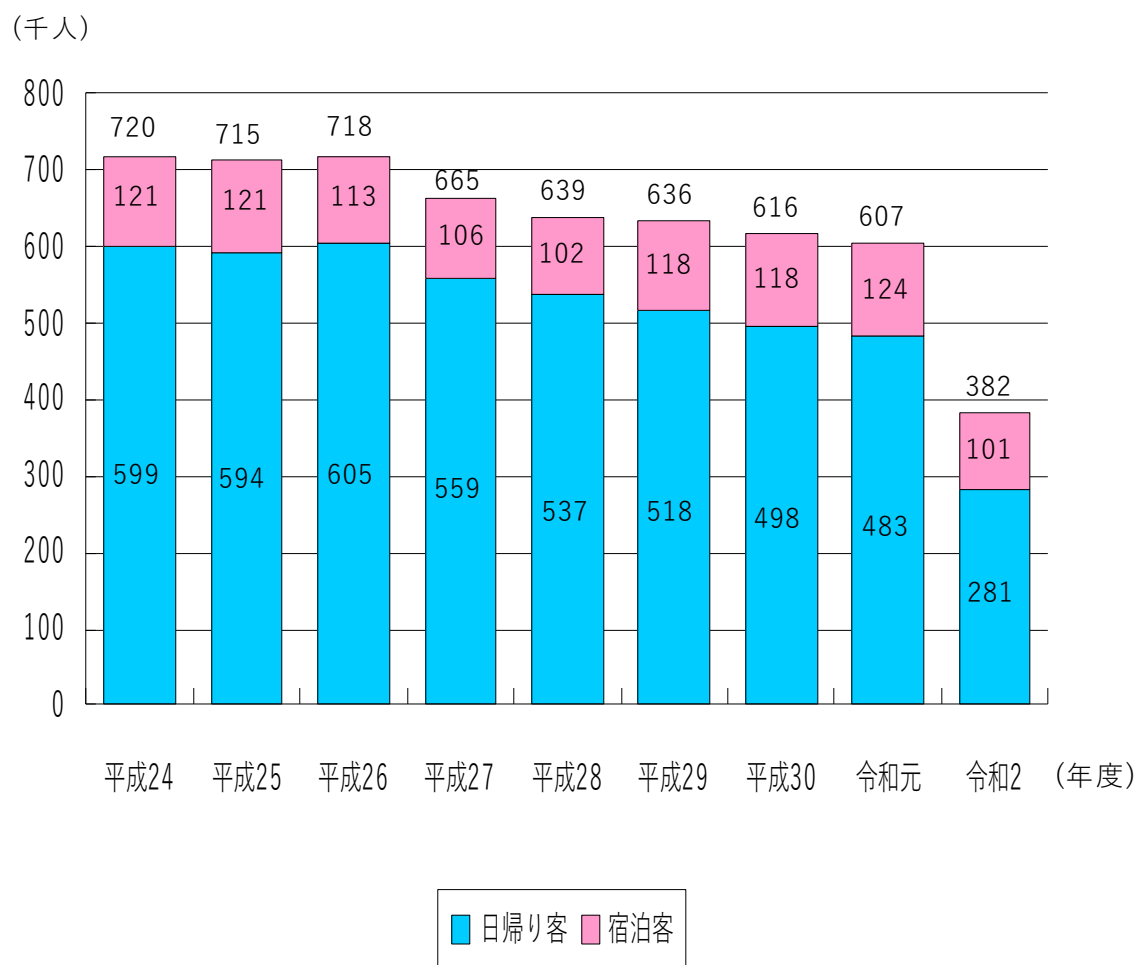
出典：相生市資料、市街地図（令和 4 年）

2-6 観光動向

本市への観光客は、平成 26 年度までは年間 70 万人以上で推移していましたが、平成 27 年度以降は減少傾向となり、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、約 38 万人となっています。

また、観光形態については、約 8 割が日帰りでの観光となっています。

【観光客の推移（相生市）】



出典：観光客動態調査（兵庫県）

2-7 自動車保有台数

本市の自動車保有台数は、約 21,000 台前後で推移しており、令和 3 年は 20,880 台となっています。また、20 歳以上の人口に対する自動車保有率は約 85%前後で推移しており、大多数の市民が自動車を所有しています。

【自動車保有台数と保有率の推移（相生市内）】



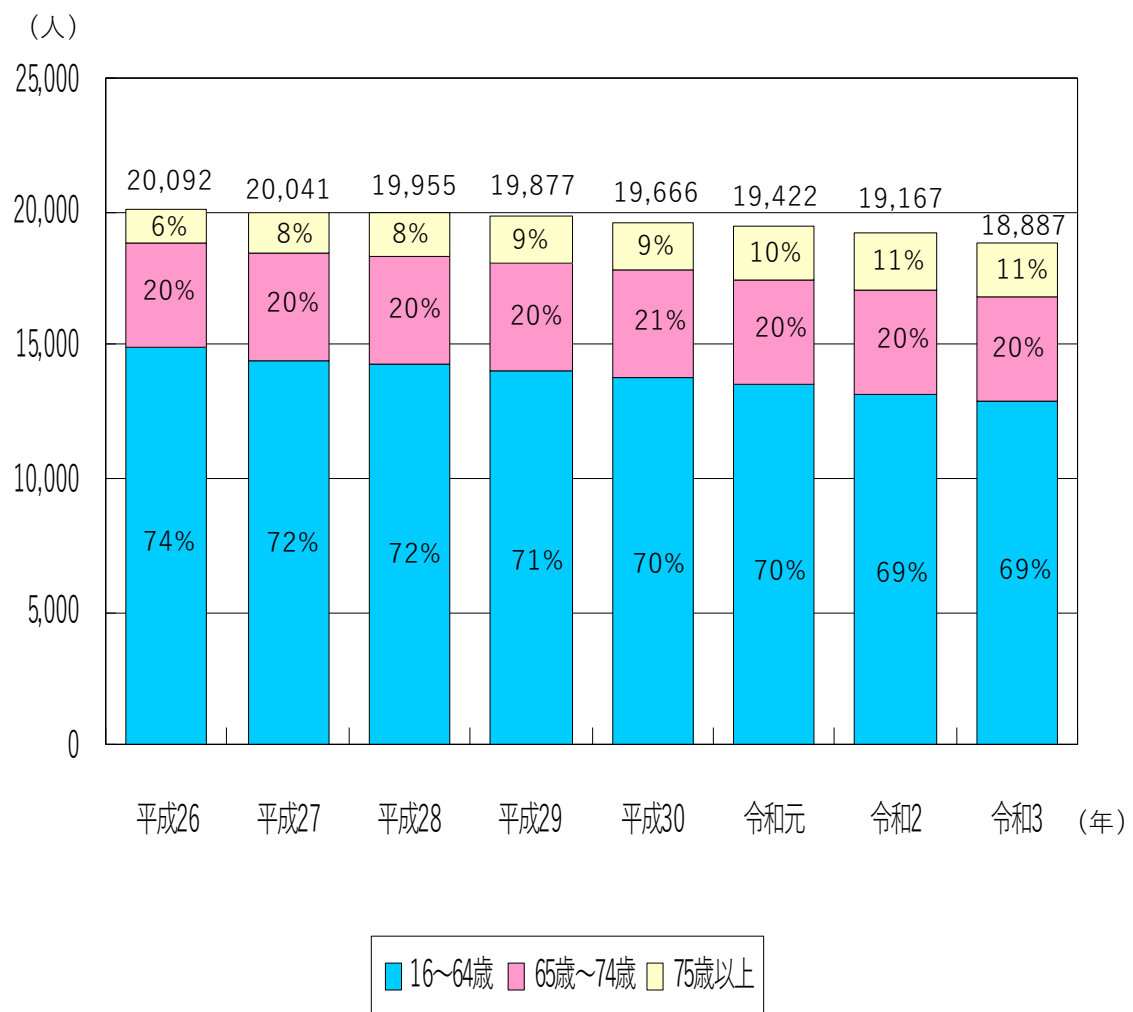
出典：自動車保有台数（兵庫県市区町別主要統計指標）
住民基本台帳に基づく人口（総務省）
※人口は20歳以上を対象

2-8 自動車運転免許保有状況

本市の自動車運転免許保有状況に関しては、自動車運転免許保有者数では人口の減少に伴い減少傾向にありますが、75歳以上の後期高齢者は増加傾向にあり、65歳以上も含めると3割以上が高齢者ドライバーとなっています。

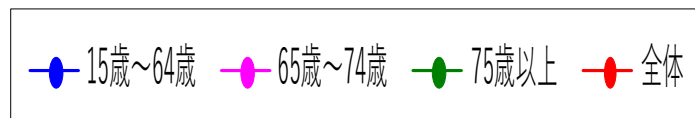
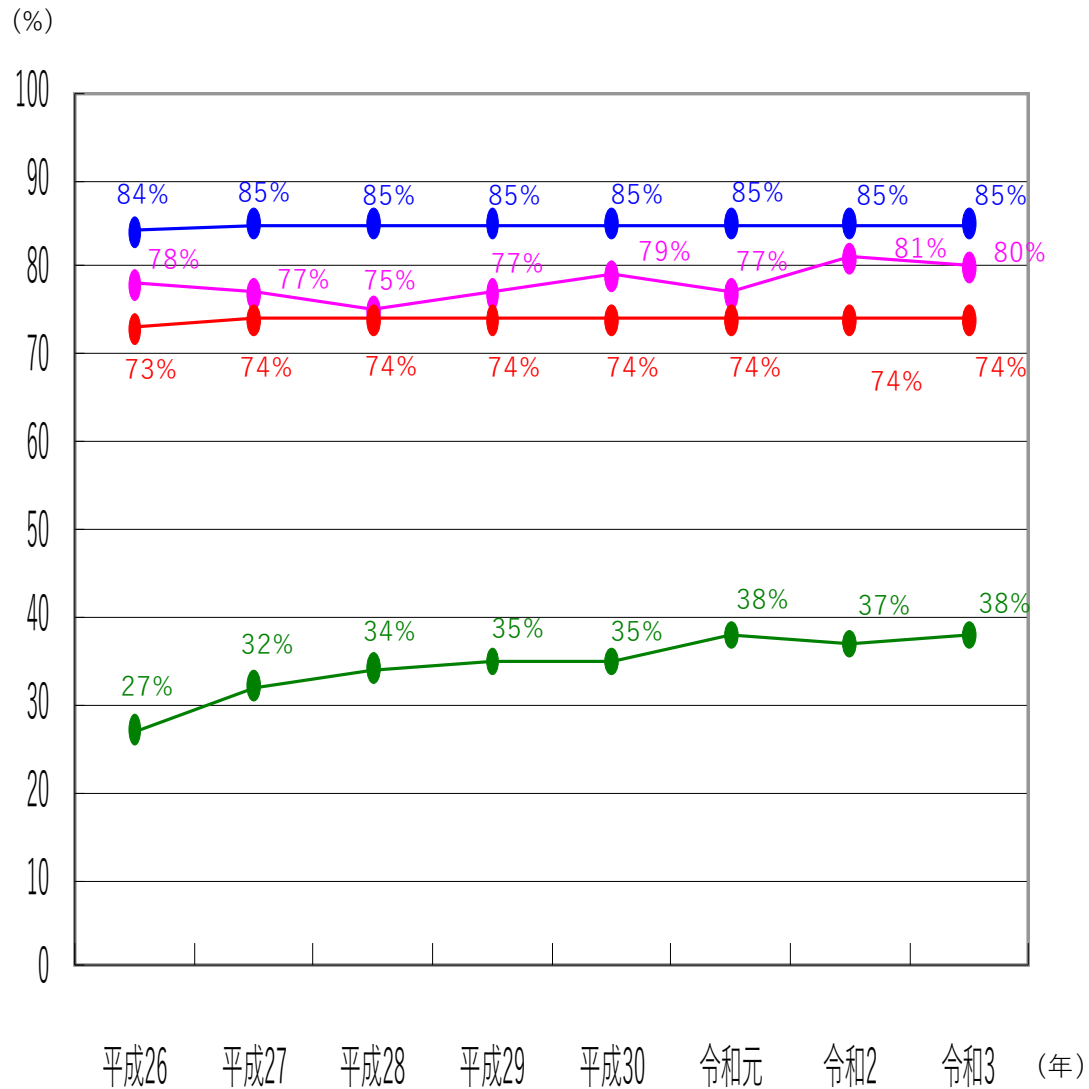
また、自動車運転免許保有率でも65歳以上の高齢者の割合がここ数年では増加傾向となっており、高齢者ドライバーの増加が顕著となっています。

【自動車運転免許保有数】



出典：住民基本台帳に基づく人口（総務省）、相生警察署資料

【自動車運転免許保有率】



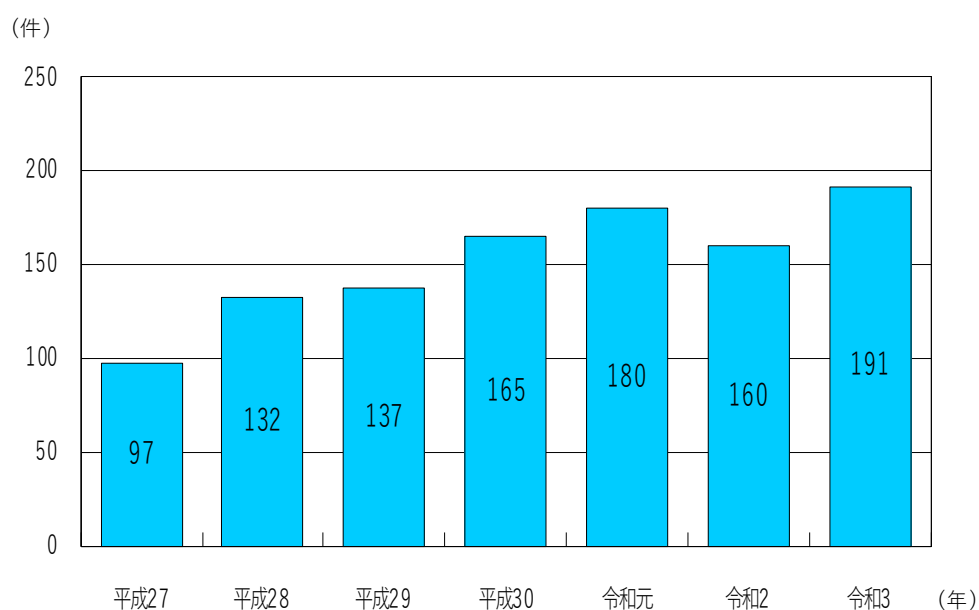
出典：住民基本台帳に基づく人口（総務省）、相生警察署資料

2-9 自動車運転免許自主返納数

相生警察署管内の自動車運転免許の自主返納数は、平成 27 年以降増加傾向にあり、直近の令和 3 年では 191 件となっています。また、令和 4 年は 10 月末時点で 161 件となっており、令和 3 年を上回るペースとなっています。

これは、高齢者の事故などによる運転の危険性の啓発や免許更新時の認知症検査などの手続き変更により自動車運転免許自主返納に対する意識の変化が見受けられたことが原因であると思われます。

【相生警察署管内の自動車運転免許自主返納件数】



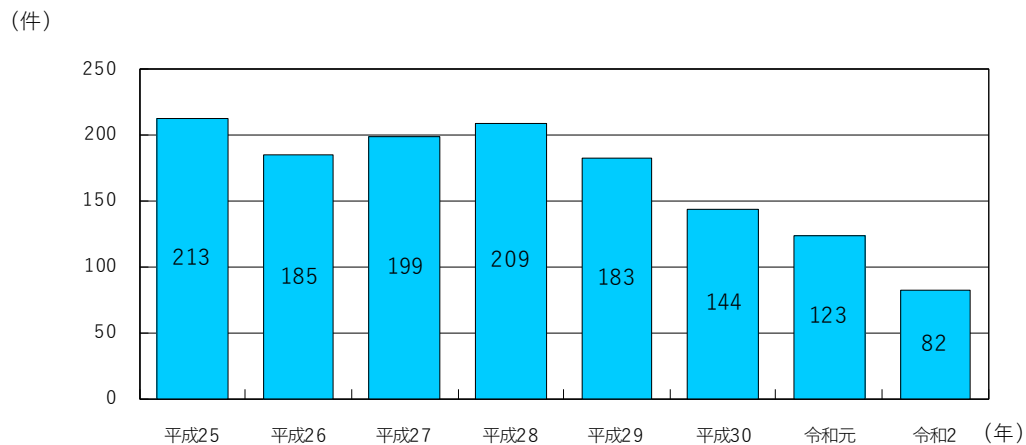
典：相生警察署資料

2-10 交通事故の状況

本市内の交通事故件数は平成 25 年を最多として減少傾向にあり、直近の令和 2 年は 82 件となっています。

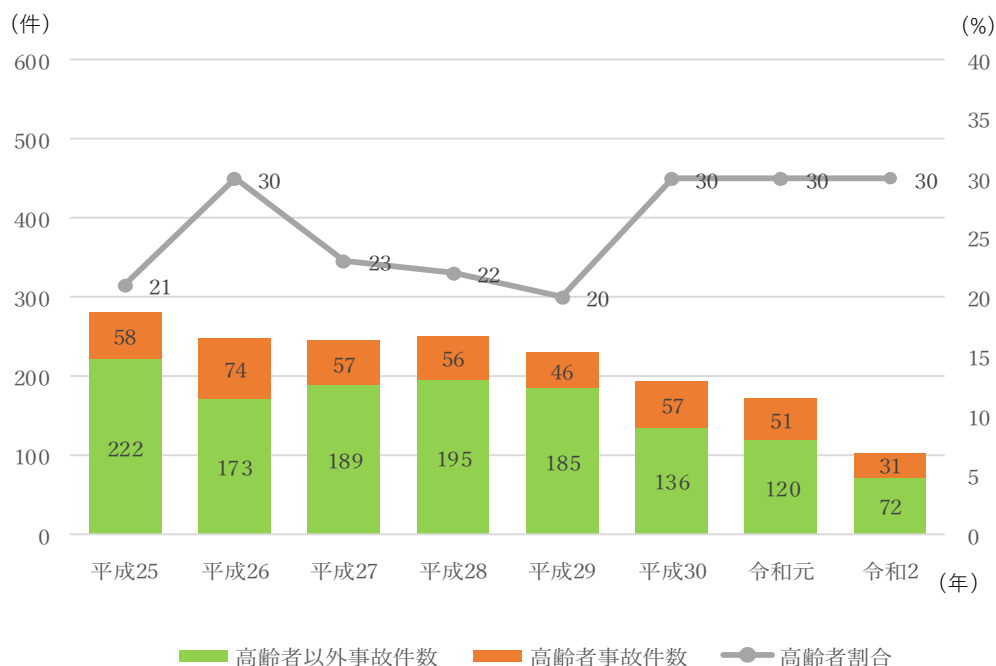
本市を管轄する相生警察署内の人身事故件数も、令和 25 年以降は減少傾向が続いており、令和 2 年は 103 件となっていますが、高齢者が第 1 当事者となる人身事故件数は全体の 30%を占めています。

【相生市内の人身事故件数】



出典：相生市統計

【高齢者が第 1 当事者となる人身事故（相生警察署管内）】



出典：交通年鑑（兵庫県警察）